

スペック^{*11}

ドック - 一般	
製品名	DJI Dock 3
総重量	55 kg (機体を除く) 実際の製品重量は、製造バッチの素材の違いや外的要因により、異なる場合があります。
サイズ	ドックカバーを開いた状態：1760 × 745 × 485 mm (長さ×幅×高さ) ドックカバーを閉じた状態：640 × 745 × 770 mm (長さ×幅×高さ) すべてのデータには、RTKモジュールの幅(160mm)、風速計の高さ(145mm)、および取り付けベースブラケット(158mm)が含まれます。
入力電力	最大 800 W
動作環境温度	-30℃～50℃
保護等級	IP56
最大風圧抵抗 (着陸時)	12 m/s
RTK ベースステーションの測位精度	水平：1 cm + 1 ppm (RMS) 垂直：2 cm + 1 ppm (RMS)
ドック - 充電性能	
出力電圧	35 V DC
充電時間	27 分 この値は、25℃の環境下で、電源を切った状態の機体をバッテリー残量 15% から 95% まで充電した時の測定値です。

ドック - バックアップ バッテリー	
バッテリー容量	12 Ah
出力電圧	12 V
バッテリータイプ	鉛蓄電池
バッテリー駆動時間	> 4 時間 25℃の環境下で、完全充電されたバックアップ バッテリーを使用して測定。停電している状態では、ドックは、機体の充電、空調の操作、ドックのカバーの加熱、風速計の加熱機能には対応しません。電源を速やかに復旧してください。

ドック - ネットワーク アクセス	
イーサネット アクセス	10/100/1000Mbps アダプティブイーサネット ポート

ドック - センサー	
風速センサー	対応
雨量センサー	対応
外気温センサー	対応
浸水検知センサー	対応
キャビン内温度センサー	対応
キャビン内湿度センサー	対応

ドック - セキュリティカメラ (外部)	
解像度	1920 × 1080
視野角 (FOV)	151°
補助ライト	補助白色ライト

ドック - セキュリティカメラ (内部)	
解像度	1920 × 1080
視野角 (FOV)	151°
補助ライト	補助白色ライト

ドック - 対応ソフトウェア	
アプリ	DJI Enterprise アプリ (Android スマートフォンを使用して導入およびセットアップ)
クラウド プラットフォーム	FlightHub 2 FlightHub 2 オンプレミスバージョン

機体 - 一般	
重量	1850 g この値には、バッテリー、プロペラ、microSD カードの重量が含まれますが、サードパーティ製ペイロードの重量は含まれていません。実際の製品重量は、製造バッチの素材の違いや外的要因により、異なる場合があります。
最大離陸重量	2090 g
サイズ	377.7 × 416.2 × 212.5 mm (長さ×幅×高さ、プロペラなし)
最大上昇速度	6 m/s (ノーマルモード) 10 m/s (スポーツモード)
最大下降速度	6 m/s (ノーマルモード) 8 m/s (スポーツモード)
最大水平速度 (海抜、無風)	ノーマルモード、障害物検知有効時：15 m/s 前方飛行、12 m/s 後方飛行、10 m/s 側方飛行 スポーツモード：21 m/s 前方飛行、19 m/s 後方飛行、15 m/s 側方飛行 DJI Dock を使用する場合、ノーマルモードのみサポートされます。
最大風圧抵抗	運用時：12 m/s 離着陸時：12 m/s
運用限界高度	6500 m
最大飛行時間	54 分 *制御されたテスト環境下で測定。テスト条件の詳細は以下の通りです：無風のラゴ環境下で海抜高度 20 m を、空真モードでスタンバイ飛行中。画像撮影動作はなし。障害物回避アクション オフに設定した状態で、前方飛行は最大 12 m/s、(バックアップ) バッテリー残量が 100% から 0% になるまで飛行。この値は、環境、実際の使用方法、ファームウェア バージョンにより、異なります。
最大ホバリング時間	47 分 以下の条件下で測定：DJI Matrice 4D シリーズドローンを使用し、海抜 20 m の無風環境下で、バッテリー残量が 100% から 0% になるまで飛行。この値は、環境、実際の使用方法、ファームウェア バージョンにより、異なります。
最大動作半径	10 km 以下の条件下で測定：環境温度約 25℃、安全バッテリー残量 15%、無風環境、往復飛行速度 約 15 m/s、ホバリング動作 15 分。この値は、環境、実際の使用方法、ファームウェア バージョンにより、異なります。
ホバリング精度範囲 (無風または微風)	垂直： ± 0.1 m (ビジョンポジショニング使用時) ± 0.5 m (GNSS ポジショニング使用時) ± 0.1 m (RTK ポジショニング使用時) 水平： ± 0.3 m (ビジョンポジショニング使用時) ± 0.5 m (GNSS ポジショニング使用時) ± 0.1 m (RTK ポジショニング使用時)
動作環境温度	-20℃～50℃
保護等級	IP55
プロペラ型式	1364F 折りたたみ式低ノイズ抗着氷プロペラ
機体 - カメラ	
イメージセンサー	DJI Matrice 4D： 広角カメラ：4/3 型 CMOS、有効画素数：20 MP 中望遠カメラ：1/1.3 インチ CMOS、有効画素数：48 MP 望遠カメラ：1/1.5 インチ CMOS、有効画素数：48 MP DJI Matrice 4TD： 広角カメラ：1/1.3 インチ CMOS、有効画素数：48 MP 中望遠カメラ：1/1.3 インチ CMOS、有効画素数：48 MP 望遠カメラ：1/1.5 インチ CMOS、有効画素数：48 MP

対応ファイルシステム	
写真フォーマット	DJI Matrice 4D： 広角カメラ：JPEG/DNG (RAW) 中望遠カメラ：JPEG 望遠カメラ：JPEG DJI Matrice 4TD：JPEG DJI Matrice 4D & DJI Matrice 4TD：MP4 (MPEG-4 AVC/H.264) デジタルズーム 望遠カメラ：16 (112 倍ハイブリッドズーム)
機体 - NIR 補助ライト	
赤外線照明	DJI Matrice 4TD： FOV：5.7° ± 0.3°
機体 - レーザーモジュール	
レーザー距離測定	通常の入射角範囲：1800 m (1 Hz) @20% 反射率ターゲット* 斜入射範囲 斜距離 1：5)：600 m (1 Hz) ブラインドゾーン：1 m
機体 - 赤外線サーマルカメラ (DJI Matrice 4TD)	
熱画像撮像装置	非冷却 VOx マイクロボロメータ 赤外線カメラレンズを高エネルギー光、炎、溶岩、レーザービームなど) に向けてください。カメラのセンサーが過熱し、回復不能な損傷につながる可能性があります。
解像度	640 × 512
画素ピッチ	12 μm
フレームレート	30 Hz
レンズ	DFOV 対角視野：45° 焦点距離 (35mm 判換算)：53 mm
温度測定範囲	-20℃～150℃ (高利得モード) 0℃～500℃ (低利得モード)
写真フォーマット	JPEG (8 ビット) RAW (16 ビット)
動画解像度	1280 × 1024@30fps (UHR 赤外線画像モード有効、夜間撮影モード無効) その他の条件：640 × 512@30fps
動画フォーマット	MP4
デジタルズーム	28 倍
赤外線波長	8 ~ 14 μm
機体 - ジンバル	
スタビライズ機構	3 軸メカニカルジンバル (ピルト、ロール、パン)
機械的可動範囲	DJI Matrice 4D：ピルト：-140°～+50° ロール：-52°～+52° パン：-65°～+65° DJI Matrice 4TD：ピルト：-140°～+113° ロール：-52°～+52° パン：-65°～+65°

機体 - センサー	
検知タイプ	全方向デュアルビジョンシステム、機体底部にある 3D 赤外線センサーを補助的に使用。
前方	測定範囲：0.5 m ~ 20 m 検知範囲：0.5 m ~ 200 m 有効検知速度：飛行速度 ≤ 15 m/s FOV：水平 95°、垂直 90°

後方	測定範囲：0.5 m ~ 20 m 有効検知速度：飛行速度 ≤ 12 m/s FOV：水平 95°、垂直 90°
----	--

側方	測定範囲：0.5 m ~ 16 m 有効検知速度：飛行速度 ≤ 10 m/s FOV：水平 90°、垂直 90°
----	--

上方	測定範囲：0.5 m ~ 20 m 有効検知速度：飛行速度 ≤ 6 m/s FOV：前方 & 後方 95°、左方 & 右方 90°
----	---

下方	測定範囲：0.5 m ~ 16 m 有効検知速度：飛行速度 ≤ 6 m/s FOV：前方 & 後方 90°、左方 & 右方 95°
----	---

動作環境	前方、後方、上方、下方：地表が認識できる状態で、充分な照度条件下 (> 0.1 lux) 左方 & 右方：拡散反射率 > 20% の拡散反射面 (例：壁、木、人物) で、適切な明るさのある状態 (6ルクス超)
------	---

機体 - 映像伝送	
映像伝送システム	DJI O4+ Enterprise
ライブビュー品質	720p/30fps、1080p/30fps (DJI RC Plus 2 Enterprise 使用) 540p/30fps、720p/30fps、1080p/30fps (DJI Dock 3 および DJI FlightHub 2 使用時)
最大伝送距離 (障害物、電波干渉のない場合)	FCC：25 km CE：12 km SRRC：12 km MIC (日本)：12 km *障害物や電波のない状態で測定。上記のデータは、各基準下での復路のないH 通飛行で最も遠い通信範囲を示しています。飛行中は、DJI FlightHub 2 または DJI Pilot アプリの RTH リマインダーに注意してください。

機体 - ストレージ	
対応メモリーカード	機体： U3/Class10/V30 以上のカードに対応。

機体 - バッテリー	
容量	6768 mAh
電圧	22.14 V
最大充電電圧	25.5 V
セルタイプ	Li-ion 6S
材料	LiNiMnCoO2
エネルギー	149.9 Wh
サイクル回数	400
充電温度	5° C ~ 45° C

機体 - 電源アダプター	
入力	100 ~ 240 V (AC)、50/60 Hz、3 A
出力電力	240 W
出力	合計：最大出力電力 240 W。USB-C ポート：最大出力電力 65 W 2 ポート同時充電時、USB-C ポートの最大出力電力は 45W です。

DJI ENTERPRISE



DJI DOCK 3

過酷な挑戦に立ち向かえ

DJI Dock 3 は、24 時間 365 日のリモート操作を可能にし、初めて車両搭載によるモバイル設置に対応。さまざまな環境への適応を容易にします。ドローンは、DJI Matrice 4D、または Matrice 4TD の高性能ドローンを搭載し、飛行性能と防護性能がさらに向上しています。

^{*11} 詳細は DJI ホームページにて最新情報をご確認ください。

DJI Enterprise について

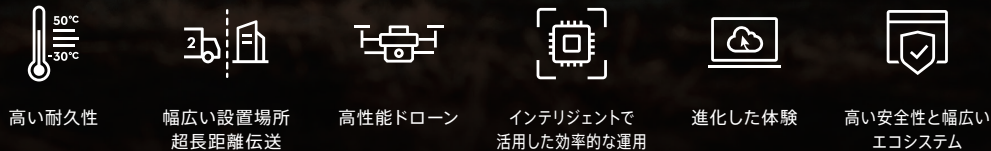
DJI Enterprise は、新世代ビジネスのために世界トップクラスのドローンソリューションを開発するグローバルチームです。ドローンソリューションにより、作業者を支援し、業務拡大と作業のデジタル化を推進。農業／インフラ／公共安全部門など、さまざまなビジネスをサポートすることができます。



www.dji.com/jp
jp.enterprise@dji.com



© 2025 DJI JAPAN. ドローンを飛ばすためには飛行ルールがあります。飛行する前に、現地の法律や規制、国土交通省が定める飛行ルールを確認し、遵守してください。詳細については、国土交通省の無人航空機総合窓口サイト(https://www.mlit.go.jp/koku/info/)をご確認ください。製品の構成や仕様は予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。



すべての環境をマスター



耐暑性
50℃
最高動作温度

耐寒性
-30℃
最低動作温度



耐風性能
12 m/s
最大耐風速度

堅牢性と信頼性
IP55
DJI Dock 3



低ノイズ・抗着氷プロペラ
運用中の騒音を効果的に低減。
凍雨の中でも安定飛行を維持。

幅広い設置場所、超長距離伝送

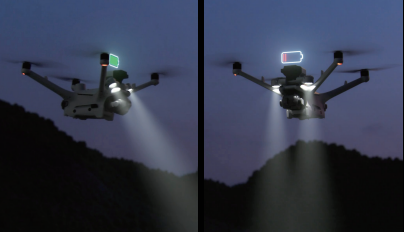
移動車載設置



移動中の操作では、屋内のスタッフが DJI FlightHub 2 を使用して、Dock の位置をリモートでキャリブレーションし、クラウド上でタスクを割り当てることができ、これにより人員とスケジュールの効率が向上します。



2 機の Dock を 1 台の車両に同時に設置することができ、大幅な効率向上を実現します。DJI Dock 3 は、ドローン間の衝突を回避し、運用の安全性を確保するために特別な引き継ぎパターンを採用しており、2 つの Dock が秩序正しくタスクを交代することを可能にします。



2 機のドローンの自動ホバリング回転により、リアルタイムの空中映像を継続的に送信できます。緊急時には、スポットライトを搭載して常時照明を提供することが可能です。^[1]

高性能ドローン



DJI Matrice 4D と 4TD は、DJI Dock 3 用に特別設計されており、飛行時間が延長し、DJI RC Plus 2 Enterprise とベアリングして単独で 사용할 수 있습니다. 両方のドローンには、広角カメラ、中望遠カメラ、望遠カメラ、レーザー距離計が搭載されています。Matrice 4D は、プロフェッショナル向けの高精度マッピングや詳細な表面検査に非常に効果的です。Matrice 4TD は、赤外線サーマルカメラと新しい NIR 補助ライトを搭載し、インフラ検査、緊急対応、公共安全など、幅広い用途に適しています。

1. 最新のファームウェアにアップグレードする必要があります。



DJI MATRICE 4D

広角カメラ
4/3 型 CMOS
有効画素数 20MP
f/2.8-f/11
焦点距離 24mm(35mm 判換算)
メカニカルシャッター

望遠カメラ
1/1.5 型 CMOS
有効画素数 48MP
f/2.8
換算焦点距離 168mm(35mm 判換算)

中望遠カメラ
1/1.3 型 CMOS
有効画素数 48MP
f/2.8
焦点距離 70mm(35mm 判換算)

レーザー測距
垂直入射範囲：1800m (1 Hz)
斜入射範囲 (1:5 斜距離): 600m (1 Hz)
ブラインドゾーン：1 メートル
測定精度 (m): ±(0.2 + 0.0015 × D)^[2]



DJI MATRICE 4TD

広角カメラ
1/1.3 型 CMOS
有効画素数 48MP
f/1.7
焦点距離 24mm(35mm 判換算)

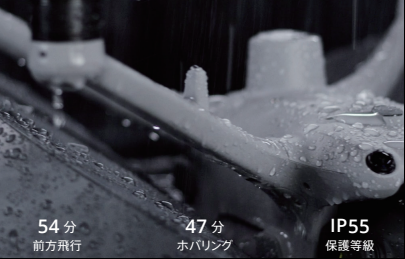
望遠カメラ
1/1.5 型 CMOS
有効画素数 48MP
f/2.8
焦点距離 168mm(35mm 判換算)

NIR補助ライト^[4]
6° FOV、100m^[5] 照射距離

中望遠カメラ
1/1.3 型 CMOS
有効画素数 48MP
f/2.8
焦点距離 70mm(35mm 判換算)

レーザー距離計
測定範囲：1800m (1 Hz)
斜入射範囲 (1:5 斜距離): 600m (1 Hz)
ブラインドゾーン：1m
測定精度 (m): ±(0.2 + 0.0015 × D)^[2]

赤外線サーマルカメラ^[3]
解像度 640 × 512
f/1.0
焦点距離 53 mm(35mm 判換算)
非冷却 Vox マイクロボロメータ
UHR 赤外線画像モード対応



54 分
前方飛行

47 分
ホバリング

IP55
保護等級



長時間飛行、堅牢な保護

フル充電時、Matrice 4D/4TD は 15 m/s の速度で 47 分の印象的な飛行時間を提供し、運用時間が 37% も向上します^[6]。半径 10 km で運用した場合は、ドローンは 18 分の作業を可能にします^[7]。両モデルは、IP55 の防塵・防水性能で過酷な条件に耐えるよう設計されています。

安全運用のための障害物検知

Matrice 4D/4TD 用の障害物検知モジュール^[8] は、回転する LiDAR とミリ波レーダー技術を組み合わせて、複雑な電力線の交差で最大 15m/s の速度で 12mm のワイヤーレベルの障害物回避を正確に行い、低照度条件での位置決めを強化します^[1]。電力配電ネットワークの様々な環境や変電所の複雑なレイアウトでの運用安全性を確保します^[9]。

山岳地形におけるシームレスな空中中継

Matrice 4D/4TD 用の障害物検知モジュール^[8] は、回転する LiDAR とミリ波レーダー技術を組み合わせて、複雑な電力線の交差で最大 15m/s の速度で 12mm のワイヤーレベルの障害物回避を正確に行い、低照度条件での位置決めを強化します^[1]。電力配電ネットワークの様々な環境や変電所の複雑なレイアウトでの運用安全性を確保します^[9]。

オープンエコシステムで、広がる可能性

インテリジェントアルゴリズムデベロッパー

必要なモデルトレーニングツールを提供し、サードパーティデベロッパーの認証プロセスを支援して、新しいインテリジェントアプリケーションの拡大を助けます。

クラウドAPI

DJI Pilot 2 に組み込まれたクラウド API (MQTT ベースのプロトコル) を活用して、Matrice 4D シリーズをサードパーティのクラウドプラットフォームに直接接続することができます。アプリを開発することなく、ドローンのハードウェア、動画配信、静止画データにアクセスすることが可能となります。

クラウド間の協調操作

DJI FlightHub 2 の FlightHub Sync 機能を介して、ユーザーはサードパーティのクラウドプラットフォームに簡単にリンクでき、データの柔軟な管理が可能になります。

サードパーティー製ペイロード

機体に搭載された E-Port 経由でパラシュートなどのサードパーティー製ペイロード^[8] に接続して、機能をさらに追加できます。また、DJI FlightHub 2 で追加したペイロードを遠隔操作することもできます^[10]。

2. D は測定距離を示します。 3. Matrice 4TD でのみ利用可能です。赤外線カメラレンズを高エネルギー源（太陽、溶岩、レーザービームなど）に向けしないでください。カメラのセンサー焼けが生じ、回復不能な損傷につながる場合があります。 4. Matrice 4TD でのみ利用可能です。NIR 補助ライトは、望遠カメラの照明ニーズに適しています。 5. ドローンが地上 100 メートル上空をホバリングし、望遠カメラが効果的に画像を撮影している状態で測定。 6. DJI Dock 2 の Matrice 3D/3TD と比較。 7. 周囲温度約 25℃、安全なバッテリー残量 15%、無風環境、往復速度約 15 m/s で測定。この値は参考値です。実際の作業で測定されるデータは異なる場合があります。 8. 別売です。 9. 障害物回避の失敗により衝突が発生し、ドローンまたは障害物検知モジュールに損傷が生じた場合、以下の条件が満たされている限り、公式の修理が無料で提供されます：障害物検知モジュールが設置されていること、ドローンがプリセットされたルートに沿って自動的に飛行していること、すべての機材が正常に動作していること、GNSS 信号が強いこと、天候条件が良好であること、ミリ波レーダーと LiDAR の両方が正常に機能していること。以下のシナリオでは、無料修理は提供されませんのでご注意ください：（1）飛行ルート周辺に高速で移動する物体が存在する場合（例：稼働中の風力タービン、移動中のタワークレーン、飛行中の鳥など）；（2）雨、雪、霧、またはほこりなどの特殊な天候条件；（3）国の政策制限により、特定の国や地域でレーダーが認証されず、起動できない場合。詳細は、お近くの代理店までお問い合わせください；（4）障害物検知モジュールが保証対象外である。 10. ペイロードが DJI FlightHub 2 と互換性があるか、使用前に正規販売代理店に確認してください。